

農村計画委員長便り 070330 (文責・伊藤庸一)

委員長便り 061122 からだいぶ日が開きました、以下に 3 月までの農村計画本委員会・主査幹事会、学術推進委員会から要点を抜粋して紹介します。ただし、いくつかはすでに陳腐化している内容もあります。新しい情報に従ってください。とくに大会研究集会や日韓研究会は新しい内容が固まってきています。きまり次第情報を流しますので、ご了解下さい。

目次

学術推進委員会	06年12月8日から	1
農村計画主査幹事会	06年12月9日から	2
学術推進委員会	07年1月12日から	4
農村計画本委員会	07年3月10日から	4
学術推進委員会	07年3月13日から	6
スケジュール		6

学術推進委員会 06年12月8日から

07年度技術部門設計競技

構造委員会、災害委員会から提案された「既存建築物の耐震改修デザイン」が承認された
すでに応募要領が公開されている

07年度調査研究委員会予算配分

前年度と同じ配分方法による予算が承認された。 農村計画委員会は 1,291,000 円である
小委員会活動成果報告の提出依頼

農村計画委員会ではすべての小委員会から 2 月に活動報告が提出され、3 月の農村計画
本委員会で、活動報告がなされている

なお、活動報告はおって建築学会のホームページに公開される

07年度国際交流振興基金の申請案内

申請期限は、3 月末日、および 9 月末日、書式は建築学会ホームページよりダウンロード
できる

インターネット無線接続サービス

建築会館でインターネット無線接続サービス(無料)が開始された

大会梗概集CD-ROMからDVDに移行するアンケート

移行に賛成 89.5 %、反対 10.5%であった。いずれ DVD に移行することが議論される

海洋委員会 海洋建築委員会

海洋委員会から平成 19 年度より名称を「海洋建築委員会」に変更したい旨の希望が出さ
れ、承認された

特別研究テーマ

以下の 3 件が承認された

建築プロジェクトにおける発注者の役割と法制度上の位置づけに関する研究(建築経済委
員会+建築計画委員会)

都市・建築空間における雪氷災害に関する研究(持田灯)

教育界と産業界の人材需給構造と建築職能の将来像の検討を通じた建築界の人材育成と教育の改革方向に関する研究（秋山恒夫）

05～06年度調査研究委員会活動報告会

06年3月20日のスケジュールが確認された。農村計画委員会は今回はなし、次年度に報告する。なお、農村計画委員会と共同する、農山漁村における自然災害復旧支援計画特別研究委員会、木造廃校舎の利活用特別研究委員会はそれぞれ研究を終了するので、活動報告を行う

学術推進委員会の仕組み（組織、運営方法、承認事項など）

表記について、各委員会に意見が求められた。今回は、学術推進委員会の組織のあり方を検討するための資料として記録をとり、引き続き、意見を聴取のうえ、次年度、学術推進委員長との交代後、具体的な議論に入るとのことであった

.....

農村計画主査幹事会06年12月9日から（議事録は農村計画委員会ホームページ参照）

農村計画研究の新しい動き

農村計画本委員会と関東支部農村建築専門研究委員会共催で、07年3月9日（金）15:30-18:00に開催する。

報告：川口友子氏（武庫川女子大学） 「明日香における心象風景とその生成」

山崎義人氏（神戸大学） 「流動的な住まい方の可能性」

福岡県西方沖地震・玄界灘復興での戸建て住宅計画の報告・検討会

被災集落支援計画小委員会・農山漁村集落自然災害復旧支援特別研究委員会の共催で、07年1月13日（土）15:00-17:00にアクロス福岡にて開催する。

報告：牧敦司氏（醇建築まちづくり研究所）

被災集落の支援のあり方について考える

被災集落支援計画小委員会・農山漁村集落自然災害復旧支援特別研究委員会の共催で、公開研究会の予定が紹介された。4月13日に変更になったので省略

・このほか、農村居住小委員会主催の公開研究会「県境居住と地域連携」、07年2月24日（土）、豊橋にて実施予定、報告は戸田敏行氏（東三河地域研究センター）ほか、田園空間計画小委員会主催の現地研修会「つくばスタイル」、07年3月に実施予定「ポロブドゥール・エキジビション」にあわせて07年夏に現地でおこなわれる学生向けの講習会に農山漁村景観保全小委員会が参加する予定

などが紹介された

07年日本建築学会大賞業績候補の推薦

農村計画委員会は青木正夫先生を推薦する、了承 その後、青木先生が受賞された。お祝い会を企画する予定である。

08年度学会賞選考委員会委員（論文部門）候補の推薦

齊木崇人先生（神戸芸術工科大学）を推薦する、了承

08年度奨励賞選考委員会委員候補の推薦

菊地成朋先生（九州大学）を推薦する、了承

07年度大会PS・OS

PS：「まちづくりむらづくり」「景観・環境資産」「海外事例研究」で実施、了承

OS：「市町村合併と農村再編」のテーマで実施、了承

主旨：平成の大合併が全国を席卷している。市町村合併のねらいは、自治体行政の効率化、行政対応の高度化・専門化などにあるとされるが、他方で行政対応力の低下、住民サービス低下、公共施設やインフラの整備・維持管理への支障、地域コミュニティ活動の低下、市町村内における地域格差拡大、などが危惧されている。農村計画委員会では、市町村合併が地域の生活、施設・サービス、そして自治などに及ぼす影響を明らかにし、計画的課題の整理をめざして本 OS を企画する。以下の4つのテーマを中心に積極的な論文投稿を望む。

- (1) 住民生活への影響・生活圏の広域化、過疎化促進・限界集落の増加
- (2) 地域施設・サービスの統合・再編、施設管理への影響（指定管理者等）
- (3) 地域自治区の設置と住民自治組織の再編、住民と行政との協働
- (4) 新市町村の総合計画策定、国土利用計画・都市計画マスタープラン策定

07年度研究集会企画について

研究協議会・PDについて議論したが、その後の検討で修正されたので、省略、3月本委員会記録を参照

環境資産の継承と集落共生デザイン

集落共生デザイン小委員会主催のワークショップ「環境資産の継承と集落共生デザイン - 宮城県登米市の町並みと炭焼き小屋を中心に - 」が 06 年11月25～26日に登米市森林公園で実施された。参加者：委員6名、学生9名、計15名

07年度予算配分

農村計画委員会 07 年度予算配分は ¥ 1,291,000

(06 年度予算配分：¥ 1,258,000 ¥ 33,000 増額)

新たに農村環境教育小委員会（主査：重村力、環境教育科研の成果物を出版するための小委員会、設置期間1年）の設置が予定されているので、農村計画委員会の予算配分は以下を検討

設置2年目の小委員会 ¥ 125,000 × 6 小委員会 = ¥ 750,000

農村環境教育小委員会 ¥ 60,000 × 1 小委員会 = ¥ 60,000

本委員会 ¥ 481,000 了承

刊行企画「田園で学ぶ地球環境」

日本建築学会（編）とし、農村環境教育小委員会が企画をすすめる、科研の学術図書助成金を申請中、6月10日に原稿を出版社（技報堂）に提出、6月30日までは原稿修正可、申請がとらなくても、技報堂から出版できるように交渉、10月に刊行予定

日韓研究会

07 年度は韓国で開催する。国際交流振興基金援助事業 3 月をを検討する。春期学術研究会とし、6月23日を予定する。テーマは中山間をメインとし、韓国側と交渉する

両学会の農村計画に関する研究発表リストを交換し、実質的な研究交流の場にしていく、研究会終了後は記録報告書を作成して蓄積をつくる、などの意見が出された
交渉は、アジア農村フォーラム WG 主査の金先生（宇都宮大学）

小委員会の活動報告会 + 本委員会
3月10日(土)、建築学会会議室で開催する

.....
学術推進委員会 07年1月12日から

07年度九州大会

応募要領等について議論し、会費未納者、論文予約購読費未納者への注意、発表登録費未納入者への注意を要領に表書きするとともに、プログラム編成会議前の指定日までに納入がない場合は、梗概受理を拒否することが承認された

研究集会企画は、会場数が9部屋であるため抽選で開催日を決めた 農村計画委員会は2日目 amPD、pm 協議会となった

研究集会企画を複数委員会が共催するなど、絞り込み、他の分野の研究集会にも積極的に参加・議論するべきだ、などの意見が出された

研究集会開催時間について検討し、午前：9:00～12:30、午後：13:30～17:00にすることが承認された

運営委員会、小委員会の廃止・申請

各委員会からの提案が承認され、農村計画委員会から出されていた農村環境教育小委員会の設置が認められた

.....
農村計画本委員会07年3月10日から (議事録は農村計画ホームページ参照)

07年度大会OS

現在まで応募が2編あり、いずれも採用。OSを活発にするためにも至急に投稿を呼びかける。応募予定1編あり。原稿〆切は、一般の梗概とおなじ4月15日

07年度大会研究集会の開催時間

1日目 午前 9:15～12:30 午後 13:30～17:00

2日目 午前 9:00～12:30 午後 13:30～17:00

3日目 午前 9:00～12:30 午後 13:30～17:00

農村計画部門は8月30日(2日目)の午前にPD、午後に研究協議会を開催/夜に懇親会を開催(岡田先生が計画)

06年度大会(関東)学術講演会セッション講評及び一押し講演

資料が承認された、HPで公開する。まだ講評を頂いてない方は講評が届き次第HPに収録する

論文集委員会委員

斎尾直子先生(筑波大学)を推薦、了承。

論文集委員会査読委員候補者(敬称略)

退任：上田陽三、近江隆、佐藤平、池浩三、泉清之、島田良一、中村民也、古川修文、斉藤輝二、坂本磐雄

追加：柳田良造(プラハアソシエイツ(株))、瀬戸口剛(北海道大学)、田代久美(宮城大

学)、田中勝(山梨大学)、金木健(石川高等専門学校)、川口友子(武庫川女子大学)、熊野稔(徳山高等専門学校)、後藤隆太郎(佐賀大学)、小野尋子(琉球大学)

技術報告集委員会委員

藤沢直樹先生(日本大学)を推薦、了承。

技術報告集査読委員候補者

論文集委員会査読委員候補者とおなじ

07年度大会学術講演会プログラム編成会議委員(敬称略)

伊藤庸一(日本工業大学)、岡田知子(西日本工業大学)、川嶋雅章(明治大学)、金俊豪(宇都宮大学)、栗原伸治(日本大学)、斎尾直子(筑波大学)、齋藤雪彦(千葉大学)、三橋伸夫(宇都宮大学)、藤沢直樹(日本大学)

広報委員

栗原伸治先生(日本大学)を推薦、了承

災害委員会委員

後藤隆太郎(佐賀大学)を推薦、了承

07年度大会農村計画部門研究集会(その後の修正を含む、さらに検討中、敬称略)

研究協議会「いかに美しい国土(くに)をつくるか」

司会:山崎寿一(神戸大学)、副司会:大沼正寛(東北文化学園大学)、記録:福島綾子(九州大学)

主旨説明:伊藤庸一(日本工業大学)

主題解説:岡田知子(西日本工業大学)、三橋伸夫(宇都宮大学)、西山徳明(九州大学)

ほか

PD「誰が守る九州の美しむら」

司会:後藤隆太郎(佐賀大学)、副司会:山崎義人(神戸大学)、記録:田代久美(宮城県立大学)

主旨説明:伴丈正志(長崎総合科学大学)

主題解説:がんばってむらづくりをしているところの人たちに依頼する

PD、研究協議会それぞれの司会、副司会、記録でまとめていく、資料集の編集方針も相談する、PDと研究協議会の資料集を合本にする?

日韓研究会(敬称略)

春季学術研究会と同時開催にする、中山間地域組織小委員会が中心になってすすめる

07年6月23日(土)13:00~17:00、韓国全羅道で開催予定

挨拶;韓圭榮(Han Kyu-Youn、韓国農村建築学会会長、忠北大学)

伊藤庸一(日本建築学会農村計画委員会委員長、日本工業大学)

基調講演;李相正(慶尚大学建築学部)「韓国における農山村地域の実態と課題」

三橋伸夫(宇都宮大学)「日本における農山村地域の実態と課題」

研究発表;齋藤雪彦(千葉大学)「過疎化地域における空間管理」

金俊豪(宇都宮大学)「安心院のグリーンツーリズム」

韓国側は、1社1村運動、農村活性化のための観光開発・そのビジョンと課題を考える、住民参与による農村町計画過程と地域全部博物館概念の適用実験、宋家邸と近現代史の現場が共にする「HONBUL」(歴史小説)からしぼる

研究紹介；岡田知子（西日本工業大学）、斎尾直子（筑波大学）、前田真子（広島工業大学）ほか、研究会参加者

なお、これまでの「日韓公開研究交流会」を「日韓研究会」に変更し、成果を印刷するなど、蓄積することにした

研究発表の論文を Accept した場合、その旨を書面（英語）で著者に連絡するなど、日韓研究会のスタイルをつくってゆくことになった。山崎先生に見本をいただく

ポロブドゥール寺院周辺農村地域国際フィールドスクール

表記の案内が回覧された

小委員会活動成果報告会

16:30 ~ 17:20 まで小委員会主査による活動成果報告がなされた。次年度も活動成果報告会を持つことが確認された

.....

学術推進委員会 07年3月13日から

07年度大会研究集会の開催時間変更の確認

- 1 日目 午前 9:15 ~ 12:30 午後 13:30 ~ 17:00
- 2 日目 午前 9:00 ~ 12:30 午後 13:30 ~ 17:00
- 3 日目 午前 9:00 ~ 12:30 午後 13:30 ~ 17:00

07年度大会研究集会の確認

AIJデジタルライブラリー

05 年度・06 年度大会研究集会資料のダウンロード状況が紹介された

AIJ デジタルライブラリーの実施要領が確認された

運営委員会・小委員会の廃止・設置申請

材料施工委員会などの廃止・設置申請が承認された

建築基準法の性能評価のあり方に関する提言

表記について建築法制委員会から説明があり、提言を了解した 理事会に諮る

学術推進委員会の仕組みについての意見聴取中間報告

表記が説明され、引き続き議論を進めていくことになった

.....

スケジュール (農村計画委員会 学術推進委員会・建築学会)

5 月	5/11 学術推進委員会 5/11 プログラム編成会議 5/11 拡大主査幹事会
6 月	6/23 春季学術研究会 = 日韓研究会
7 月	7/14 地井氏追悼会 / 虎ノ門パストラル
8 月	8/29 ~ 31 九州大会 / 福岡大学 30 日に農村計画懇親会を予定 青木先生お祝い会 (未定)
9 月	
10 月	